



新学術領域「共創言語進化」 国際シンポジア EVOLINGUISTICS 2018 講演③

社会的認知と向社会行動の初期発達

Early development of social understanding and prosocial behavior

子どもは2歳頃になると、少しずつ他者の気持ちをくみ取りながら行動するようになります。デューク大学のSvetlova博士にコミュニケーション能力の発達についてお話していただきます。また、言語コミュニケーションや共感性に詳しい日本の研究者を交えて、社会性や道徳性の発達についての議論を展開します。

2018年8月2日（木） PM 2:00～4:00（開場1:30）

東京学芸大学 N講義棟 206教室 ※正門または東門からご来場ください。

使用言語：英語 ※質問は日本語でも可能です。

対象：一般、東京学芸大学（大学院含む）に所属する学生及び教職員

参加費：無料 ※会場の都合により先着順となります(定員64名)。

講師：Dr. Margarita L. Svetlova
デューク大学 神経心理学部 客員助教授

ピッツバーグ大学で発達心理学の博士号を取得。マックス・プランク進化人類学研究所で研究後、現在はデューク大学で教壇に上りつつ、特に道徳性の観点から社会性スキルの初期発達の研究に取り組んでいる。

司会：松井 智子 東京学芸大学 国際教育センター 教授
コメンテーター：米田 英嗣 青山学院大学 教育人間科学部教育学科 准教授

問い合わせ先：

東京学芸大学 国際教育センター
内田真理子

✉ uchidam@u-gakugei.ac.jp